

Europe Indicators

発表日:2020年4月27日(月)

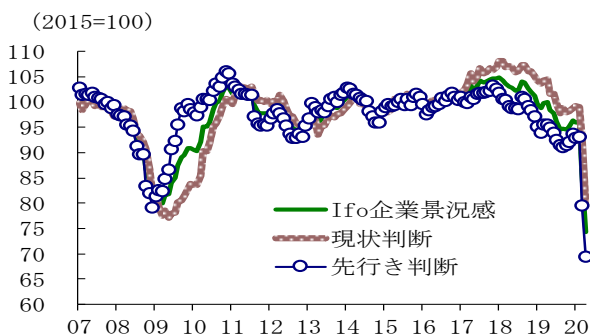
欧州経済指標コメント:4月ドイツIfo企業景況感

～次の焦点は業況底入れの兆し～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理 (TEL:03-5221-4527)

- 24日に発表された4月のドイツIfo企業景況感(2015年=100の指数)は74.3と、リーマンショック時のボトム(2009年3月の79.9)を下回り、史上最低を更新した。単月で史上最大の落ち幅を記録した前月(前月から10.1ポイント低下)に続き、今月はそれを上回る同11.6ポイントの低下と、2ヵ月連続で大幅な落ち込みとなった。
- 内訳は、先行き判断が前月:79.5→今月:69.4と一段と低下し、史上最低を大幅に更新(これまでは2008年12月の79.2)。前月に持ち堪えていた現状判断も92.9→79.5に急低下し、史上最低(2009年5月の77.1)に迫っている。
- 業種別の業況判断(ゼロが好不況の分岐点)は、先行き判断が製造業、サービス業、卸売業、小売業、建設業が揃ってマイナス幅が大きく拡大、現状判断も建設業を除いてマイナスに転落した。
- 先行き判断の劇的な落ち込みからは、既報のZEW景況感指数(市場参加者の先行き景況判断)でみられた景気回復期待が、企業関係者の間で広がっていないことが確認される。ドイツでは感染拡大にピークアウトの兆しも広がっており、4月中旬以降は一部店舗の段階的な営業再開も始まっている。まだ本格的な封鎖解除までには相当な時間が掛かりそうだが、今後はこうした動きを反映し、企業関係者の業況がどのタイミングで底入れするか注目が集まる。

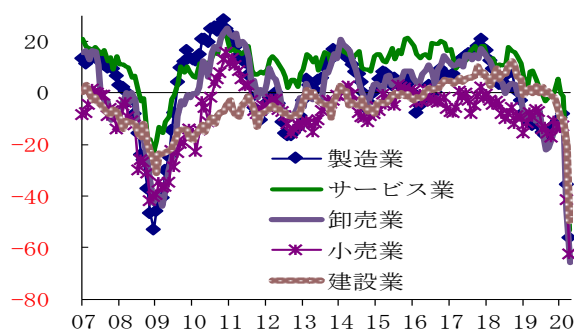
■ドイツ:Ifo企業景況感



出所:Ifo

■ドイツIfo企業景況感

■ドイツ:業種別の先行きの業況判断



出所:Ifo

	2019				2020				2019				2020			
	2Q	3Q	4Q	1Q	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月			
企業景況感(総合)	98.6	95.1	95.3	92.6	94.5	94.8	94.6	95.1	96.3	95.9	96.0	85.9	74.3			
現状指数	102.5	98.7	98.3	97.0	97.7	98.7	97.9	98.2	98.8	99.1	98.9	92.9	79.5			
先行き指数	94.8	91.6	92.4	88.5	91.4	91.1	91.5	92.0	93.8	92.8	93.1	79.5	69.4			
業況判断	15.6	8.0	8.4	-	6.6	7.3	6.9	7.8	10.5	9.6	9.8	-12.2	-37.6			
製造業	3.5	-5.5	-5.5	-7.4	-5.7	-6.5	-5.4	-6.0	-5.0	-1.8	-1.6	-18.7	-44.4			
サービス業	23.6	16.5	18.6	9.5	13.8	17.1	16.8	17.7	21.4	18.8	17.3	-7.6	-34.2			
卸売業	7.2	-4.6	-3.6	-6.1	-6.4	-6.9	-6.1	-2.3	-2.3	2.0	0.9	-21.2	-47.0			
小売業	6.7	3.8	3.8	-5.8	4.2	2.3	1.4	5.6	4.3	1.4	1.2	-20.0	-51.6			
建設業	23.5	22.1	19.3	10.3	21.3	21.8	20.6	19.8	17.6	12.8	13.0	5.0	-17.6			

出所:Ifo

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

